令和元年度 アビリンピック徳島大会 2019

表計算

1. 競技課題

競技は、以下の3課題とする。なお、課題①、課題②を 60 分で取組み、10 分休憩後、課題③を 30 分で取り組むこととする。なお、課題①・②が仕上 がっていない場合、課題③が 30 分以内に終了した場合に限り、再度取り組 んでよいものとする。

課題1:売上推移表を作成し商品区分別の売上を確認する。

課題 2 : 売上最下位 8 月分「商品区分 A0002」の出納帳を作成し売上低迷の 原因を確認する。

課題3:改善カレンダーを作成し売上の改善を進める。

- ① 課題1:売上推移表 集計·装飾、等
 - 1) 関数設定: SUM MAX MIN AVERAGE RANK
 - 2) 表示形式:ユーザー定義(「6」入力で「6月」表示)等・通貨
 - 3) 罫線: プリセット設定
 - 4) セルのサイズ:行列幅変更
 - 5) グラフ作成(円グラフ): 商品区分別売上・月別売上 (タイトル・デー タラベル設定)
- ② 課題2:出納帳(売上最下位8月分「商品区分 A0002」)
 - 1) 関数設定: DATE・SUM・SUMIF
 - 2) 参照·四則演算:当日残高=前日残高+借方-貸方·利益·曜日
 - 3) 表示形式:ユーザー定義(「2019」入力で「2019 年」表示)・通貨・曜 日
 - ギータ入力規則:F列にリスト設定
 - 5) 行の追加:行の追加に伴う設定(四則演算・セルの参照、等)
 - 6) 表示: ウインドウ枠の固定

- ③ 課題3:改善カレンダー ※「A1」西暦を変更でカレンダーが更新する。
 1)表示形式:ユーザー定義(「2019」入力で「2019年」表示)
 - 2) 関数設定: DATE・WEEKDAY
 - 3) 四則演算:日付=前日日付+1
 - 4) カメラ:9月改善カレンダー[Q1]~[W14] を[A10]~[O39] 表示
 - 5) セル書式設定:塗りつぶし・フォント色 設定
 - 6) 印刷範囲: [A 1]~[O 5 0] 設定
- 使用機種及び使用ソフトウェア 使用機種は、Windows 10 をインストールしたもので、CD-R に書込み可能な ドライブもしくは USB フラッシュメモリを使用可能な環境のパソコンとする。 使用ソフトウェアは、Excel 2016 とする。
- 競技時間
 解答時間は 90 分間とする。説明、設定、の時間は別途設け、競技全体の時間 は 100 分間とする。
- 4. 注意事項
 - ① 競技中は、参考書・メモなどは必ずしまってください。
 - ② 競技委員の指示があるまで、この表紙は開けないでください。
 - ③ 競技開始の合図で解答を始めてください。
 - ④ 解答は、デスクトップ上の「2019 表計算課題」ファイルを使用し、上書き 保存してください。なお、解答時間中に印刷は行いません。
 - ⑤ 「2019 表計算課題」ファイルは、課題ごとにシートが分かれています。
 - ⑥ 解答を作成する際は、ふりがなは不要です。
 - ⑦ 指示のない項目については、仕上がりイメージを参考に作成してください。
 - ⑧ 競技中にパソコンが故障した場合は、静かに手をあげて競技委員に告げ、 指示に従ってください。
 - ⑨ 競技中に質問のある場合は、静かに手をあげて競技委員に伝えてください。 ただし、競技問題の内容に関する質問には答えられませんので注意してく ださい。
 - ⑩ 競技中に手洗いに立ちたいとき、また気分が悪くなったときは、静かに手

をあげて競技委員に告げ、指示に従ってください。

- 全ての課題が終わった人は、退室しても構いません。ただし、再入室はで きませんので、荷物を持って静かに退室してください。
- ① 競技経過時間は、課題①・②の取り組み時間 30 分経過時・終了 5 分前・1 分前に合図します。課題③については、15 分経過時、終了 5 分前・1 分前 に合図します。
- 13 競技終了の合図があったら、作業をやめ競技委員の指示に従ってください。

【書見台(データホルダー)について】

* ペーパースタンドは、使用してもしなくても構いません。使用するときは、課題 をとめているスライドクリップをはずして、立てたいページを書見台においてく ださい。



令和元年度 アビリンピック徳島大会 2019

表計算



【課題1】

シート「課題1」を開き、以下の指示に従ってシートを完成させなさい。 なお、どの区分から始めても構わない。

1)次の指示に従い、関数の設定をしなさい。

区分	設定範囲	設定内容
SUM 関数	行【B8:D8】	SUM 関数を使って各月別合計を求めなさい。
	列【E3:E7】	SUM 関数を使って商品区分別合計を求めなさい。
MAX 関数	行【B9:D9】	MAX 関数を使って各月別最高額を求めなさい。
	列【F3:F7】	MAX 関数を使って商品区分別最高額を求めなさい。
MIN 関数	行【B10:D10】	MIN関数を使って各月別最低額を求めなさい。
	列【G3:G7】	MIN 関数を使って商品区分別最低額を求めなさい。
AVERAG 関数	行【B11:D11】	AVERAGE 関数を使って各月別平均を求めなさい。
	列【H3:H7】	AVERAGE 関数を使って商品区分別平均を求めなさい。
RANK 関数	列【13:17】	RANK 関数を使って商品区分別ランキングを求めな さい。

2)次の指示に従い、表示形式の設定をしなさい。

区分	設定範囲	設定内容
数値の入力	【E1】	「6」と 入力 し、ユーザー定義にて「6月」と表示す るように書式設定しなさい。「#"月"」
	[G1]	「8」と入力し、ユーザー定義にて「8月」と表示す るように書式設定しなさい。

表示形式 通 貨 表 示 形 式	【B3 : H7】	通貨表示形式 を設定しなさい。					
	【B8:D11】	※ 記号「¥」マークは不要とする。					

3)次の指示に従い、罫線の設定をしなさい。

区分	設定範囲	設定内容
罫線設定	表全体【A2:I11】	仕上がりイメージを参考に 表に罫線 を引きなさい。

4)次の指示に従い、列・行の調整をしなさい。

区分	設定範囲	設定内容
表のレイア ウト	行【1】	行の高さ:30
	行【2:11】	行の高さ:20
	列【A】	列の幅:10
	列【B:I】	列の幅:8

1		商品区分別売上推移			6月	~	8月	単位:千円		
2	商品区分	6月	7月	8月	計	最大額	最少額	平均額	ランキング	
3	A0001	3,500	4,200	3,800	11,500	4,200	3,500	3,833	3	
4	A0002	4,500	2,085	863	7,448	4,500	863	2,483	4	
5	A0003	10,866	14,200	12,455	37,521	14,200	10,866	12,507	2	
6	A0004	1,850	755	1,623	4,228	1,850	755	1,409	5	
7	A0005	12,550	13,225	13,900	39,675	13,900	12,550	13,225	1	
8	≣†	33,266	34,465	32,641						
9	最大額	12,550	14,200	13,900						
10	最少額	1,850	755	863						
11	平均額	6,653	6,893	6,528						
12										

5)次の指示に従い、グラフの設定をしなさい。

区分	設定内容		
	節囲指定	[A3:A7]	
		【E3:E7】	
	グラフの種類	2-D 円	
	作成位置	【A13 : I37】	
 グラフの編集・レイアウト	凡例	「凡例を右に配置」	
	グラフタイトル	グラフの上に設置	
		タイトル名:「商品区分別売上」	
		ラベルオプション	
	データラベル	ラベルの内容:値☑	
		ラベルの位置:中央に☑	



【課題2】

シート「課題2」を開き、以下の指示に従ってシートを完成させなさい。 なお、どの区分から始めても構わない。

1)次の指示に従い、表示形式の設定をしなさい。

区分	設定範囲	設定内容
数値の入力	[A1]	「2019」と入力しなさい。
	[B1]	「8」と 入力 しなさい。
表示形式 通貨表示形式	【C3:E35】 【J3:J10】	通貨表示形式を設定しなさい。 ※記号「¥」マークは不要し、「-(マイナス)」になったときは赤になるように設定する。

2)次の指示に従い、関数の設定をしなさい。

区分	設定範囲	設定内容					
DATE 関数		DATE 関数を使って 2019 年 8 月の 1 日と					
	[A4]	[=DATE(A1,B1,1)] 表示しなさい。					
		ユーザー定義を使って「1」と表示しなさい。					
SUM 関数	[C35 · D35]	SUM 関数を使って仕入、支出の合計を求めなさい。					

3)次の指示に従い、データ入力規則のリスト設定をしなさい。

区分	設定範囲	設定内容
デ ー タ 入 カ 規則		元の値【I3:I8】を設定場所【F3:F35】にリストを使って表示しなさい。
	設定場所【F3:F35】	下記の「イメージ」を参考に「勘定科目」を入力し なさい。※ データ→データの入力規則→リスト

データの入力規則
(設定)入力時メッセージ エラー メッセージ 日本語入力
条件の設定
入力値の種類(A):
リスト 🚽 🔽 空白を無視する(B)
データ(D):
次の値の間 -
元の値(S):
=\$1\$3:\$1\$8
□ 同じ入力規則が設定されたすべてのセルに変更を適用する(P)
<u>すべてクリア(C)</u> OK キャンセル

イメージ		A 2010年	B	C	D 쥰므匠스스아	E	F	G 単位・エロ	Н	Ι	J
	1	2019年	ŏ月 œ⊓□	4.1	reficel스'가'AU	102正詞的版 まます		单位:十円		바르카모	=1.
	2		曜日	ITA	文出	9 気向	脚定科日	光雨光		副定科目	āΤ
	3	前月磲越				15,600	ļ	¢		売上	
	4									住人	
	5				200		住入	販売強化日8/5		給与	
	6									消耗費	
	7			50			売上			修繕費	
	8			120			売上			図書費	
	9										
	10				13		消耗費			利益	
	11				15		図書費				
	12				20		仕入				
	13										
	14			86			売上				
	15										
	16										
	17										
	18				250		給与				
	19				50		仕入				
	20										
	21			106			売上				
	22			220			売上				
	23				18		消耗費				
	24										
	25										
	26				50		仕入				
	27										
	28			20			売上				
	29										
	30				350		修繕費	陳列棚			
	31										
	32										
	33			174			売上				
	24										
	96	合計		776	966						
	00										

4)次の指示に従い、参照・四則演算・関数の設定をしなさい。

区分	設定範囲	設定内容
四則演算	[A5]	【A5】に四則演算 [=A4+1] を設定し、ユーザー定義を 使って「2」と表示しなさい。また、セル範囲【A6: A34】にコピーしなさい。
参照	【B4】	【B4】参照 [=A4] を設定し、曜日を求めなさい。同様 にセル範囲【B5:B34】にコピーしなさい。
四則演算	【E4】	【E4】四則演算 [=E3+C4-D4] を設定し、セル範囲【E5: E34】にコピーしなさい。
四則演算と SUM関数	[J10]	四則演算 [=J3-SUM (J4:J9)] と SUM 関数を使って利益を 表示しなさい。
SUMIF 関数	[J3:J8]	【J3】SUMIF 関数[=SUMIF(\$F\$3:\$F\$35, I3, \$C\$3:\$C\$35)] を使って勘定科目の計を求めなさい。 【J4:J8】上記の関数を使って勘定科目毎の計をもと めなさい。

5)次の指示に従い、行を追加しなさい。

区分	設定範囲	設定内容
		【A20】四則演算 [=A18+1] を設定しなさい。
行の追加	行【20】	【C20】収入 [87] 入力しなさい。
		【F20】勘定科目[売上]表示しなさい。
	KE003	四則演算 [=E19+C20-D20] を設定しなさい。
四則演算	[E20]	同様にセル範囲【E21:E35】にコピーしなさい。

6)次の指示に従い、[ウインドウ枠の固定]を設定しなさい。

区分	設定範囲	設定内容
ウインドウ	行【1・2】	行【1・2】・列【A・B】を常時表示できるように設定
枠の固定	列【A・B】	しなさい。

	A	В	С	D	E	F	G	Н	Ι	J	
1	2019年	8月		商品区分A00	002出納帳		単位:千円				
2	Β	曜日	仕入	支出	残高	勘定科目	摘要		勘定科目	計	
3	前月繰越				15,600				売上	863	
4	1	木			15,600				仕入	320	
5	2	金		200	15,400	仕入	販売強化日8/5		給与	250	
6	3	±			15,400				消耗費	31	
7	4	Β	50		15,450	売上			修繕費	350	
8	5	月	120		15,570	売上			図書費	15	
9	6	火			15,570						
10	7	水		13	15,557	消耗費			利益	-103	
11	8	木		15	15,542	図書費					
12	9	金		20	15,522	仕入					
13	10	±			15,522						
14	11	Θ	86		15,608	売上					
15	12	月			15,608						
16	13	火			15,608						
17	14	水			15,608						
18	15	木		250	15,358	給与					
19	16	金		50	15,308	仕入					
20	16	金	87		15,395	売上					
21	17	£			15,395						
22	18	Θ	106		15,501	売上					
23	19	月	220		15,721	売上					
24	20	火		18	15,703	消耗費					
25	21	水			15,703						
26	22	木			15,703						
27	23	金		50	15,653	仕入					
28	24	±			15,653						
29	25	Β	20		15,673	売上					
30	26	月			15,673						
31	27	火		350	15,323	修繕費	陳列棚				
32	28	水			15,323						
33	29	木			15,323						
34	30	金	174		15,497	売上					
35	31	±			15,497						
36	合計		863	966							

【課題3】

シート「課題3」を開き、以下の指示に従ってシートを完成させなさい。

なお、どの区分から始めても構わない。 1)次の指示に従い、表示形式の設定をしなさい。

区分	設定範囲	設定内容
	[A1]	「2019」と入力し、ユーザー定義にて「2019 年」と 表示するように設定しなさい。「#"年"」
表示形式	[01]	「8」と入力しユーザー定義にて「8月」と表示する ように設定しなさい。「#"月"」 ※以下も同じように設定しなさい。
	[K1]	「10」と入力しユーザー定義にて「10月」と表示 するように設定しなさい。
	[\$1]	「9」と入力しユーザー定義にて「9月」と表示する ように設定しなさい。

2)次の指示に従い、関数の設定をしなさい。

区分	設定範囲	設定内容
	[01]	DATE 関数を使って 8月を [=DATE (A1, 8, 1)] 表示しな さい。
DATE 関数	[K1]	DATE 関数を使って 10 月 を [=DATE (A1, 10, 1)] 表示し なさい。
	[\$1]	DATE 関数を使って 9 月 を [=DATE (A1, 9, 1)] 表示しな さい。
	【A3】 ※2019 年 [28] 表 示	WEEKDAY 関数を使って日付 [=C1-(WEEKDAY(C1)-1)] を表示しなさい。
WEEKDAY 関数	【I3】 ※2019 年 [29] 表 示	WEEKDAY 関数を使って日付 [=K1-(WEEKDAY(K1)-1)] を表示しなさい。
	【Q3】 ※2019 年[1]表示	WEEKDAY 関数を使って日付 [=S1-(WEEKDAY(S1)-1)] を表示しなさい。

3)次の指示に従い、四則演算の設定をしなさい。

区分	設定範囲	設定内容
		四則演算 [=A3+1] を設定しなさい。
四則演算	[B3]	「仕上がりイメージ」を参考にカレンダーを仕上げ なさい。
		※カレンダー8月~10月のWEEKDAY 関数を使って求めた 日付【A3・I3・Q3】に[+1]をする。

4)次の指示に従い、カメラ機能を使って [9月改善カレンダー]設定をしなさい。

区分	設定範囲	設定内容
カメラ	【A10】~【039】の 間にカレンダーを 表示させる。	カメラ機能を設定【Q1】~【W14】作成カレンダーをク リック【A10】で再度クリックしなさい。

手順:ファイル→ オプション→ クイックアクセスツールバー→ リボンにないコマンド→ カメラ→ 追加→ OK

Excel のオプション		?	×
 全般 数式 データ 文章校正 保存 言語 簡単操作 詳細設定 リボンのユーザー設定 クイックアクセス ツール バー アドイン セキュリティ センター 	 ウ イック アクセス ツール バーをカスタマイズします。 コマンドの選択(C): ① コマンドの選択(C): ① リボンにないコマンド マートが第ペックビス ツール バーのユーザー設定(Q): ① マクレス新司 アクセス新司 アクセス新司 アクセス新司 アクセス新司 アクセス新司 アクセス新司 アクロル領域の選択 マインジーレル ・ ・	▼	•
	OK	++	シセル

5)次の指示に従い、セル書式設定をしなさい。

区分	設定範囲	設定内容
		フォントサイズ:16pt
		行の高さ:20
	[A41] ~ [050] [Q2] ~ [W14]	フォントの色 : 【C44】「◎」のみ「 <mark>濃い赤」・</mark> 【C45】「〇」 のみ「紫」
セル書式設定		※9 月改善カレンダー「◎・〇」[フォントの色] 設定も 行ないなす。
		塗りつぶし: 白
		罫線: 外枠 設定
フォントの		仕上がりイメージを参考にフォントの色を変更しな さい。※フォントの色は任意
クッシーの 色	表全体【A2:W14】	「仕上がりイメージ」を参考にカレンダーを仕上げ なさい。
塗りつぶし	行【2】	仕上がりイメージを参考に塗りつぶしの色を変更し なさい、※途りつぶしの色は任音
罫線設定	表全体【Q2:W14】	仕上がりイメージを参考に 表に罫線 を引きなさい。 ※罫線の種類は任意

6)次の指示に従い、印刷範囲設定をしなさい。

区分	設定範囲	設定内容
印刷範囲	[A1] ~ [050]	印刷範囲 を設定して「A4」サイズ1枚に印刷が収まるよう にする。

1	A 2019年	В	C 8日	D	Е	F	G	н	I	J	K 10日	L	М	N	0	Ρ	Q	R	S 9日	T 改善力I	リ	V	W
2	B	月	火	水	木	金	±		B	月	火	水	木	金	±		B	月	火	水	木	金	±
3	28 4	29 5	30 6	31 7	1	2 9	3 10		29 6	30 7	1	2	3 10	4	5 12		1	2	3	4 ©	5	6	7
5	11	12	13	14	15	16	17		13	14	15	16	17	18	19		8	9	10	11	12	13	14
6 7	18 25	19 26	20 27	21 28	22 29	23 30	24 31		20 27	21 28	22 29	23 30	24 31	25 1	26 2		15	16	17	◎・○ 18	19	20	21
8	1	2	3	4	5	6	7		3	4	5	6	7	8	9		22	22	24	0	26	27	20
10					(日の	みち	もちょう	レ	バ							22	20	1	$\odot \cdot \bigcirc$	20	21	20
12	E	1	E	1	` ار	/		- /J	-	*		순		+			29	0	1	2	10	4	5
14	- F-	•	Г.	1	/		_]	`				<u></u>		<u> </u>			0	/	0	9	10		12
15 16		1		2		- 3		4		5		6	5	/									
17			C)			6)															
19		8		9		10		11		12		13	}	14									
20 21				-			0	\cap															
22 23		15		16		17	U	18		19		20)	21	_								
24 25		10		10		.,	C	3		10		20	/	21									
26 27		00		00		0.4	<u> </u>	05		0.0		07	,	0.0									
28 29		ZZ		23		24	_	25		20		27		28	5								
30							0.	O															
32		29		30		1		2		3		4		5	;								
34			C)																			
36		6		7		8		9		10)	11		12	2								
38																							
40																							
41		【9月]確認	事項	ī																		
42		「商品	品区分	No.A	0002	10 ⁵	も上は	±±۰	日曜	日が	多い												
43		1	販売引	演化!		0																	
44		2	売出す	商品。	 有=(ך ר																	
45		-	今日司	う。11日 売出で	'' 商品=	_ =商-	品区分	No 4	1000	2													
46		4	、パン	ふいてい	十一世			へ 国		_													
47		т 5	へへ	」 +区	5、ff 一生	- 高り	ノノノ	•/6]	Л														
48		5	11141	1 HE DION "	- 1ন।	-966	u (e) (C	4															
49 50																							
51 52																							

